

# あぐい

第178号

平成30年8月1日発行

## 議会だより



子どもたちによる「かえっこバザール」



2P 主な議決内容



4P 常任委員会レポート



5P 一般質問



16P 「子育て支援グループ むぎ・むぎ」  
さんにおじゃましました

# 平成30年 第2回定例会

## 主な議決内容

会期／6月14日～28日  
議案／条例等6件、補正予算2件、承認3件、報告2件

### 可決 阿久比町税条例等の一部改正について

地方税法等の一部が改正されたことに伴い、本条例を改正する必要があるため。

### 可決 阿久比町都市計画税条例の一部改正について

地方税法等の一部が改正されたことに伴い、本条例を改正する必要があるため。

### 可決 阿久比町障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例の一部改正について

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部が改正されたことに伴い、本条例を改正する必要があるため。

### 可決 阿久比町旅館建築の規制に関する条例の一部改正について

旅館業法の一部が改正されたことに伴い、本条例を改正する必要があるため。

### 可決 阿久比町介護保険条例の一部改正について

介護保険法施行令の一部改正に伴い、本条例を改正する必要があるため。

### 可決 平成30年度阿久比町一般会計補正予算（第1号）

### 可決 平成30年度阿久比町介護保険特別会計補正予算（第1号）

### 可決 工事請負契約の締結について（町道矢高横川線道路改良工事）

# 平成30年 第2回定例会

○賛成 ×反対 —議長

番号	件名	結果	澤田道孝	小柳みゆき	都築清子	都築重信	山本和俊	瀧塚政明	竹内強	渡辺功	三留享	大村文俊	久保秋男	勝山制	山本恭久	沢田栄治
議案	26 阿久比町税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
	27 阿久比町都市計画税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	28 阿久比町障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	29 阿久比町旅館建築の規制に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	30 阿久比町介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	31 平成30年度阿久比町一般会計補正予算(第1号)	可決	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
	32 平成30年度阿久比町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	33 工事請負契約の締結について(町道矢高横川線道路改良工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認	1 専決処分の承認を求めることについて(阿久比町税条例の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	2 専決処分の承認を求めることについて(阿久比町都市計画税条例の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	3 専決処分の承認を求めることについて(阿久比町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告	1 平成29年度阿久比町一般会計予算繰越明許費繰越計算書															
	2 平成29年度阿久比町国民健康保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書															
陳情	1 最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情書															
	2 適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情書															
	3 すべての労働者に、安定した雇用と1日8時間で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情書															
	4 住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情書															
	5 地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書															
	6 沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情書															



# 常任委員会レポート

## 総務建設

### 阿久比町税条例等の一部改正

手持品課税にかかる町たばこ税は貯蔵場所または小売販売業者は、申告書を定められた期日までに町長に提出しなければならぬと規定されているが。

**Q** 貯蔵場所・小売販売業者を把握しているか。

**A** 把握していない。

**Q** 手持品課税申告書の提出確認。

**A** 販売業者等が税務署にたばこ税の申告を

する。

申告書に基づいた町の課税分にかかる部分の書類が町に提出されることで確認をする。

**Q** 今後5年をかけて段階的に改正する内容。

**A** 現行の千本あたり、5262円を5692円、これが、30年10月1日から、5692円を6122円に改める改正は、32年10月1日から適用。  
6122円を6552円に改正するのは33年10月1日から適用。

**Q** 31年度の改正がない理由。

**A** 消費税の増税にかかる部分で値上げをしない。

### 阿久比町一般会計補正予算

**Q** 寄附金の使途決定方法。

**A** 寄附者の希望を最優先、使途に制約がない時は、アイデアを出し合って幹部会で決める場合もある。

**Q** 消費費の補正で、耐震貯水槽の緊急遮断弁の点検業務委託料を削って、補修をする理由。

**A** 毎年12月に点検を行う契約をしている。12月末の報告書で遮断弁がしっかり閉じない状況が明らかになった。

当初予算に間に合わないため補正をした。

(久保 秋男 議員)

## 教厚文

### 阿久比町障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例の一部改正

**Q** 委託業者が対応するということが。

**A** 町は、町が実施する調査や指導内容について指定事務委託法人に委託することができ、受託業者に適切な報告義務を課す。

**Q** 中学校のトイレ改修。

**A** これから洋式化する。来年度以降の予算計上で考えている。

平成30年度阿久比町一般会計補正予算

**Q** 新給食センターの建築確認申請はいつ頃。

**A** 現在、実施計画を進めており、10月までには確認申請をしたい。

**Q** 放課後児童健全育成費

**A** げんキッズ東部隣接の民有地を購入するもの。

6月21日に総務建設委員会、22日に文教厚生委員会を行い、それぞれの委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、審査を行った。主な質疑は次のとおり。

**Q** 学校施設個別施設計画策定業務委託料

**A** 建築後、40～50年を経た町内学校施設について、一級建築士に診断と更新時期の決定を委託するためのもの。

(都築 清子 議員)



幼保小中一貫教育プロジェクト勉強会

ここが  
聞きたい

# 一般質問 町政を問う

今議会では、6月18日(月)・19日(火)に、10名の議員が一般質問を行いました。  
一般質問は、町政全般にわたって、執行機関(町側)に疑問点をたずねるものです。  
事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。  
持ち時間は町側の答弁を含め1人60分です。  
次のページから、本会議場での質疑の概要を1人1頁で、掲載しています。

発言残時間 60分

頁	議員名	質問項目
6	瀧塚 政明	1. 町道の整備及び適正管理 2. 都市計画税の見直し
7	大村 文俊	1. 区画整理事業予定地暫定用途への取り組み 2. 新半田病院アクセス課題 市期待の環状線は開通未定の新聞記事
8	都築 清子	1. 備えて防災・減災 2. ごみ20%減量への取り組み
9	渡辺 功	1. 財政関係と新規事業
10	竹内 強	1. 学校給食 2. 保育園の入所と働く母親の支援 3. 障がい者の生活を保障する問題

頁	議員名	質問項目
11	久保 秋男	1. 子どもを犯罪から守るための対策と課題
12	山本 恭久	1. ストレスチェック制度の効果と今後の展望 2. 「働き方改革」関連法案を見据えて
13	澤田 道孝	1. なぜ進まぬ都市計画道路環状線
14	小柳みゆき	1. 本町義務教育における実態 2. 陽なたの丘における小学校区、通学問題が提起されている、その解決策
15	勝山 制	1. 新給食センター建設計画

今回の傍聴人数 延べ43人



# 町道の整備・適正管理

## 計画的に整備を進める



瀧塚 政明 議員  
(済々会)

道路は町民の日常生活や社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、極めて多面的な機能を持っている。

住み続けたい快適なまちづくりのため町道の整備及び適正管理は欠かせない。

**問** 道路改良率65・55%は近隣市町と比較してどうなのか。

**答** 5市5町の道路改良率の平均は61・53%で、本町は4・02ポイント上回っている。5町では本町が1位である。

**問** 狭隘道路の拡幅整備の状況と今後の見通し。

**答** 平成29年度は10件の用地買取りを実施した。今後は、地区のご協力をいただき、路線での拡幅整備計画を検討する。

**問** 道路改良用地の取得状況と今後の見通し。

**答** 平成29年度は道路改良用地取得のため、3路線（町道105号線、2141号線、4035号線）9名の方から合計8

70・62㎡の用地を取得した。今後も地区からの要望やご協力により、計画的に進めていく。

**問** 安全、安心な道路の適正管理への取り組み状況と今後の見通し。

**答** 1・2級町道は道路舗装修繕計画により、橋梁は、5年毎に点検を実施し、橋梁長寿命化修繕計画により、計画的に修繕を行っている。

その他郵便局職員や町職員のパトロールもしている。今後も適正な道路管理に努める。

**問** 道路への樹木等の張り出し対策と今後の取り組み。

**答** 地区等からの連絡により、現地確認の上、土地所有者に文書で通知している。

今後は、地区の協力により、路線を選定し、路線単位で樹木所有者への通知を検討したい。

**問** 町南部の権現山と西狐谷池周辺を拠点とするウォーキングコースの整備状況。

**答** 本計画は、「阿久比町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に記載はあるが、計画期間内の実施は難しい状況である。実施に向け、地元の協力をいただき、調査研究を進める。

## 都市計画税の見直し

### 見直しの予定はない

都市計画税は、都市計画事業又は土地区画整理

事業に要する費用に充てるため、市街化区域内に所在する土地及び家屋に対し、その課税標準額に0・3%を上限に課税することができるとして、用途限定の目的税である。

**問** 本年度の充当事業の見込み。

**答** 都市計画税の収入見込み額は2億8771万4千円で、道路整備に係る地方債償還額・下水道事業へ充当予定である。

**問** 税率を引き下げる考え。

**答** 下水道事業の平成30年度末の地方債未償還残高は36億1486万円あり、今後の都市計画事業等の推進を考えると、都市計画税の税率を引き下げる予定はない。

**問** 過去10年間の都市計画税の徴収額及び使途の状況。

**答** 過去10年間の都市計画税の収入額は27億2089万円で、道路整備に係る地方債償還額・公園事業・土地区画整理事業・下水道事業へ充当した。

**問** 都市計画基金への積み立て予定。

**答** 下水道事業の地方債未償還額が約36億円あり、厳しい町財政の現状から、基金へ積み立てる余裕はないと考える。



工事が進む町道4035号線  
(大字卯坂地内)



大村 文俊 議員  
(高志会)

# 区画整理事業予定地 暫定用途地域のゆくえ ～市街化調整区域への逆線引きとなるのか～

## 地権者への意向調査を実施中

平成37年度を越えて、なお残る暫定用途地域は、一斉に市街化調整区域へ編入することを基本にしている。

期日を迎えて、少ない市街化区域を市街化調整区域に逆線引きにする結果となってしまうのか。

今後、どのように進めていく考えか、その取り組みを確認する。

**問** 県からの通知は、「平成30年度までに対応方針を選択・決定すること」となっているが、それをしないと決めた理由

**答** 県の「暫定用途地域解消をめざす施策ガイドライン」には、平成30年度までに対応方針を選択・決定するという通知はない。

**問** 現在の職員体制で、平成37年度までに解消することは可能か。

**答** 兼務の職員1人と、県派遣職員1人で対応している。

今後、県職員の派遣を受け、暫定用途地域解消を図る。

**問** 町施工で、区画整理事業を進める考え。

**答** 最近では、名鉄など民間活力による土地区画整理事業が進められている。

今後も、組合や民間活力を活用して、事業を進めて頂きたい。

## 新・半田病院アクセス課題 ＝期待の環状線は開通するのか＝

### 県が実現に向けた案を検討

新・半田病院へのアクセス道路としても、とても重要な役割を果たす環状線。

その開通に向けて、阿久比町の考え、今後の対応を確認する。

**問** 半田市との事務打ち合わせなど、これまで行ってきた回数とその内容。

**答** 打ち合わせは、本年4月初旬に、「今後の整備について」実施。

同月中旬に、知多建設事務所で、「意見交換」を実施。

6月初旬には、「今後の県への整備要望に向けての意見交換」を実施している。

**問** 環状線に関する、「住民意向調査」を行う考え。



延長工事が期待される環状線（横松地区）。この先に見える阿久比町の未来予想図は、いつ実現…。

**答** 県事業なので、県が意向調査を実施するのであれば、本町は協力する。

**問** 野崎交差点以外の場所、知多・東部線と接続させる考え。

**答** 地域住民の理解を得る必要があるが、交差点の位置の変更は可能と考える。

環状線は、県の事業となるので、県で様々な角度から実現に向け、検討している。



# 備えて防災・減災

## 本年度、実践的な訓練



都築 清子 議員  
(公明党)

**問** 防災・減災は常日頃から、一人ひとりの意識高揚を図ることが大切である。

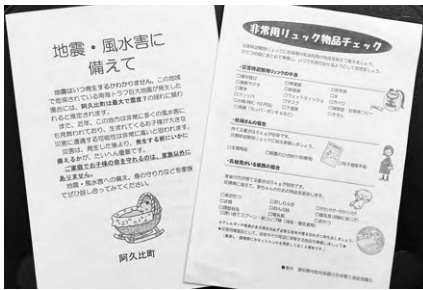
**答** もう一步踏み込んだ備えが必要と考える。

**問** 本年度の町全体の防災訓練予定内容。

**答** 災害が頻発している状況を踏まえ、南海トラフ地震に備え本年度は、『命をまもる』をテーマに、災害時の被害を最小限にとどめるための実践的な訓練を行う。

**問** 高齢者や赤ちゃんなど未就学児のいる家庭への防災・減災啓発。

**答** 高齢者に限らず、町民に対して、様々な情報を広報へ掲載し、赤ちゃんのいる家庭には、母子手帳交付時と赤ちゃん訪問時にチラシを渡しながら指導啓発を行っている。未就学児には、火災や地震を想定した避難訓練や引き渡し訓練、また、女性消防団員による防火・防災教育活動を行っている。



小さいお子さん用の防災啓発チラシ

**問** ヘルプカード、ヘルプマークの有効利用。

**答** どちらも周囲の方々に、支援が必要であることを伝える重要なアイテムであり、防災・減災にも有効利用できると思われる。

**問** 看護や介護、手話や点字ができる人の登録状況。

**答** 事前登録は難しいと考える。災害時のボランティアセンター登録時の仕組みを整備する。

**問** 主に要介護者が避難するとされる「二次避難所施設」との防災訓練。

**答** 本年度中の訓練実施に向けて、現在、調整を進めている。

**問** 女性の視点は必要不可欠。災害時、町女性職員との配置。

**答** 災害時の女性の視点・役割は大変重要であり、主に避難所担当の町女性職員は毎年、避難所運営訓練を実施している。

**問** ペットの避難。

**答** 飼い主の自助が基本であり、ペットのための備えについて飼い主に啓発を図っていく。

**問** すでに近隣市町が施行している感震ブレイカーの助成。

**答** 改めて管内電気供給事業者にスマートメーターの設置と南海トラフ巨大地震時の対応について詳しく確認したところ、過去の通電火災等の経験を生かして安全対策を取りながら慎重に対応することであった。

**問** 通電火災を防ぐには、電力事業者による対策とあわせて、避難時の火元の確認と宅内ブレイカーを落とすこと等の周知啓発に努める。

**答** 町民への周知、啓発。7月3日(火)〜7月30日(月)のうち9日間、「ごみ減量化地区説明会」を開催し、「家庭系ごみ減量化実施計画」「ごみ減量化策」「廃プラ袋の半額化」などを説明。その他、広報やHPでもPR。

## ごみ20%減量への取り組み

### 町内9カ所で説明会開催

本町の家庭系ごみ一日当たりの排出量は県下で高い。住民に2年間で20%の減量をお願いしていくための具体策。



刈草、伐採枝が多く対策が待たれる

**問** 住民への周知、啓発。

**答** 設置場所の確保や周辺住民の理解、設置費及び維持管理費など経費の増額、また地区報償金への影響などの課題があり慎重な検討が必要。

**問** 県下でごみ排出量のもっとも少ない幸田町や有料化を行っていないが排出量が少ない扶桑町などの比較から本町が学ぶ点。

**答** 幸田町は、ごみ袋の有料化、分別が進んでいる。扶桑町は分別種類が29種類と細かく、ごみの出し方もルールの徹底が図られている。先進地の取り組みを調査研究し、本町にあった取組みを実施したい。

**問** 資源ごみ出しの曜日や時間制限枠を広げた「エコステーション」の町内設置。

**答** 刈草や剪定枝の専門業者での収集処分は、別途費用が掛かる。今後、費用をかけない方法を調査研究する。

**問** 資源ごみ出しの曜日や時間制限枠を広げた「エコステーション」の町内設置。

**答** 刈草や剪定枝の専門業者での収集処分は、別途費用が掛かる。今後、費用をかけない方法を調査研究する。





渡辺 功 議員  
(新政会)

# 財政関係と新規事業

## 健全な財政運営に努める

**町長施政方針を受けて本町の財政ならびに本年度の新規事業等を深掘り。**

### 財政

**問** 本町の歳入内訳は、自主財源が64%、依存財源が36%。

**答** どう評価しているか。

**答** 愛知県の平成30年度当初予算の概要によると、県内市町村の自主財源比率の平均は64・2%で、本町は54市町村中25位となっている。特に自主財源の割合が低く、依存財源の割合が高い状況ではない。

**問** 地方債残高および財政調整基金残高。

**答** 平成30年度末地方債残高見込み額は、90億2181万4千円、財政調整基金の残高見込み額は、8億5263万7千円である。

**問** 歳出の内訳は、民生費が全体の39%と大きな割合を占めているが、その背景および今後の見通しと課題。

**答** 子供と高齢者の増加による支出増があげられる。

今後も高齢者の増加により増え続ける福祉関係需要に対し、どう対応していくのか、受益者負担の原則からも負担の見直しを検討する必要があるのではないかと考えます。

**問** 性別別では義務的経費が43%で、投資的経費は7%弱となっているのは財政的に厳しいのではないか。

**答** 本町の実質赤字比率や将来負担比率などの財務指標は国が定めた基準を大きく下回っており、健全な財政状況にある。今後も、財政運営の硬直化を招かないよう引き続き効率的で健全な財政運営に努める。

**問** 今後の扶助費や公債費の見通し。また効率的な行政運営の推進状況。

**答** 年少人口は2020年度までは増加し、それ

以降は減少傾向で、老年人口は増加を続け2040年頃には30%程度と予測している。

扶助費を含む福祉関係経費は増加すると見込んでいる。

公債費は、平成35年度までに予定されている各事業債と臨時財政対策債を毎年4億円と仮定すると、年度末未償還残高のピークは平成32年度で95億5300万円、公債費のピークは平成35年度で8億800万円と見込んでいる。

平成35年度以降、新規事業が無ければ平成40年度には未償還残高は70億9600万円に、公債費は7億3千万円に減少すると見込んでいる。

以前にも増して補助対象事業の調査研究を行ったが、昨年度末に愛知県が作成した公共施設の財政制度一覧を活用して補助対象事業を全職員で調査研究し予算化していく。

### 新規事業

**問** 「阿久比町いじめ問題専門委員会及び阿久比町いじめ問題調査委員会条例」が制定された。

**答** ① 条例制定の背景。  
② いじめの実態。

**答** ① いじめ防止対策推進法第12条の規定に基づき、「阿久比町いじめ防止基本方針」を定め、併せて付属機関として「阿久比町いじめ問題専門委員会」と「阿久比町いじめ問題調査委員会」を条例により設置する。

② 平成29年度で、小学校報告数45件、うち解消数43件、中学校報告数44件、うち解消数44件。いじめの内容は、小学校では、冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる等54件、中学校では、同じく48件。

**問** ファミリーサポート事業の概要と推進方法。

**答** 7月2日から会員募集を始め、10月1日から子育て支援センターで「あぐいファミリー・サ

ポート・センター」を開設する。

センターでは、依頼会員と援助会員を紹介し、両者合意の上で援助活動が実施される。

依頼会員から援助会員へ町が定める報酬等を支払う。

**問** 保険料を公費で負担する「徘徊高齢者個人賠償保険事業」の詳細及び本町での徘徊等の状況。

**答** 認知症による徘徊の恐れがある高齢者を被保険者とし、被保険者が第三者に負わせた損害を補償する賠償責任保険に町が保険契約者となって加入し、その費用を負担する。

高齢者おかえりサポート事業登録者を対象とする。

町における徘徊高齢者の状況は、平成27年度は5件、28年度は0件、29年度は3件であった。

# 学校給食の基本的な考え方

## 給食経費は児童・保護者負担



竹内 強 議員  
(共産党)

**憲法26条は、「義務教育は、これを無償とする」と規定している。**

**問** 学校給食も教育の一部であると考えたら無料にすべきと考えますが、無料にしない理由。

**答** 学校給食法第11条第2項において、「学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費以外の学校給食に要する経費は、学校給食を受ける児童又は保護者の負担とする。」と定められている。

**問** 給食センターの移設が大きな課題となっているが、その論議の中で自校方式給食は取り上げられたか。

**答** 自校方式を採用すると各学校の敷地に新たな施設を建設する必要があるなど、コストがかかるため、「新学校給食センター建設検討委員会」に

おいて「自校方式」の採用は現実的ではないとした。

**問** 今後、給食を外部業者に委託する考えはあるか。

**答** 学校給食の安全性や給食の質を落とさず、地

産地消を取り入れながら、園児・児童・生徒に給食を提供していく。

献立の作成及び食材の発注と納入は、町が担当。調理・食器等の洗浄及び配送・回収業務を、民間委託する。



楽しい給食時間

## 保育園の入所問題

### 調査を実施

阿久比町は知多半島で唯一「両親が社会保険に入っていること」を保育園の入園条件にしている。

**問** この入園条件の為に、入園できない子どもがいるかを、調査するべきではないか。

**問** この入園条件によってどんな効果が出ているか。

**答** 第2期の「子ども子育て支援事業計画」を策定するため、事前調査として、小学生児童及び未就学児童の保護者を対象に約1500世帯にアンケート調査を実施する。

**答** 月60時間以上勤務で保護者が社会保険に加入されている認定児童であれば「0歳から2歳児」の児童については受け入れることができる。

このアンケートを活用して概算的な数値を把握する。

### その他の質問項目

・障がい者の生活を保障する問題

# 子どもを犯罪から守る対策と課題

## 学校・保護者・地域の協力体制



久保 秋男 議員  
(済々会)

子どもは自らの力で被害を回避するという能力に欠け、被害に遭うと子ども・保護者が受ける影響は非常に大きい。

また社会に与える不安も大きいことから地域と行政が連携して、子どもが悲惨な犯罪に巻き込まれないような防犯対策は重要な課題である。

**問** 学校内の防犯危機管理体制。

**答** 各学校において危機管理マニュアルを定め、事件等が発生した場合、これに沿って対応する。

**問** 児童・生徒に登下校中の防犯指導。

**答** 知らない人についていかなることや、何かあったら大きな声を出し、「子ども110番の家」や、近くの家に逃げ込むなどの一般的なことの徹底や、「防犯ブザー」の使用などを指導している。

**問** 学校と保護者間で防犯対策の共有化。

**答** 子どもの安全対策には学校と保護者の協力体制が不可欠で、常に学校と保護者が連絡を取るようになっている。

また各学校の「安心メール」等で不審者情報や対策について情報の共有をしている。

**問** 学校・PTA・地域と連携した防犯対策。

**答** 子どもの安全・安心のため、各学校ではPTAや地域のボランティアによる「子ども見守り隊」に登録をお願いし、子どもの登下校での見守りを行っている。

**問** 下校後・休日での防犯指導。

**答** 携帯電話、スマートフォン、携帯ゲーム機、パソコンにより、知らない人と繋がったりして犯罪に巻き込まれないよう、正しい使い方の指導をしている。

**問** 遊び場や大人の目が届かない死角となる場所の把握。

**答** 各学校では、毎年、学区内の危険箇所、通学路の安全点検及び街頭指導を行っている。

**問** 町・学校・保護者・警察との連携体制。

**答** 阿久比町小・中・高等学校生徒指導推進連絡協議会で、教育委員会、各学校、PTA、保護司会、青少年健全育成地区推進員連絡協議会、少年補導員、民生児童委員、半田警察署がそれぞれの情報を共有し、子どもの安全対策に努めている。

**問** 学区別の見守り活動内容。

**答** 平成29年度の各学区での子ども見守り隊の登録者は、東部学区58人、英比学区15人、草木学区39人、南部学区29人、合計141人が子ども見守り隊として登下校中の児童生徒の安全確保のため活動している。

**問** 地域青色防犯パトロール隊と子ども見守り活動との連携。

**答** 青色防犯パトロールは、夕方から夜間にかけてのパトロール活動が中心になっていると聞いており、学校の登下校にパトロール活動が出来るかにつきましては、各地区と相談していきたい。

**問** 子ども見守り活動には地域・団体・事業所の協力が必要、その支援策。

**答** 本年度、住民税1%町民予算枠制度により、「見守り隊ベスト」を購入し、各学校から配布する。

**問** 子どもの安全確保するための実施すべき課題。

**答** 下校時における見守り隊の人数が少ないので、見守り隊に参加していただける方が増える活動等を考えていく必要がある。

**問** 地域住民の支えあいや助け合いに頼ることは重要だが、町が取り組んでいる防犯施策。

**答** 犯罪抑止に効果のある防犯カメラを昨年度末までに70基設置しており、今年度は、児童館、東部放課後児童クラブ、英比保育園、ほくぶ幼稚園など8基の防犯カメラを設置する。



笑顔で見守り



# ストレスチェック制度の効果と展望

## メンタルヘルス不調の未然防止に効果



山本 恭久 議員  
(済々会)

この制度は、労働安全衛生法の一部改正により、義務化されたものである。厚生労働省の調査によれば、仕事や職業生活に関する強いストレスを抱えている労働者の割合は、50～60%程度で推移しているが、ここ数年増加傾向にあると分析している。

その背景には、脳や心臓を患ったり、精神障がいを発症して労災認定を受けるといった事案がある。

**問** ストレスチェック制度の概要と評価。

**答** ストレスチェック制度は、ストレスに関する質問に職員が回答し、それを分析してストレス度合いを調べる検査。メンタルヘルス不調となることを未然に防止する一次予防策として効果がある。

**問** 診断結果を活用して、職場改善に向けた活動が展開できる機関の設置に対する見解。

**答** 阿久比町安全衛生委員会を設置し、ストレスチェックについての結果分析や、職場環境の改善方法を話し合っている。

**問** 対象職員の最も高いストレス要因と対策内容。

**答** 仕事に対するストレスが最も高く、高度化、複雑化する業務内容や、仕事量が増大していることが主な原因。

**問** メンタルヘルス問題の予防活動として、対象者を住民まで拡大することへの見解。

**答** ストレスチェックは、事業所が労働者に行うものであり、町職員用の検査を一般住民まで拡大して実施する考えはない。町が、一般住民向けに行っているメンタルヘルス対策があるので、こちらを活用してほしい。

## 「働き方改革」関連法案を見据えて

### 働きやすい職場環境改善に努める

働き方改革は、今後の経済・社会の構造化に対応するためには、重要な意義を持っている。また、企業力を高めるための永遠の課題でもある。

**問** 時間外労働時間削減に向けた見解。

**答** 第2・第4の金曜日「ノー残業デー」として設定している。また、「退庁宣言カード」の導入も行っている。

**問** 有給休暇取得日数の現状把握（1年間を対象に、全体と課別の件数）。

**答** 月1日以上の取得を全職員へ周知して、休暇取得の促進に努めている。

**問** 時間外労働時間と有給休暇取得状況が人事評価に与える影響度。

**答** 人事評価制度は、職員の業務や能力を評価するものであり、時間外労働時間や有給休暇取得状況が与える影響はない。

**答** 働き方改革は、今後の経済・社会の構造化に対応するためには、重要な意義を持っている。また、企業力を高めるための永遠の課題でもある。

**問** 時間外労働時間削減に向けた見解。

**答** 第2・第4の金曜日「ノー残業デー」として設定している。また、「退庁宣言カード」の導入も行っている。

**問** 有給休暇取得日数の現状把握（1年間を対象に、全体と課別の件数）。

**答** 月1日以上の取得を全職員へ周知して、休暇取得の促進に努めている。

**問** 時間外労働時間と有給休暇取得状況が人事評価に与える影響度。

**答** 人事評価制度は、職員の業務や能力を評価するものであり、時間外労働時間や有給休暇取得状況が与える影響はない。

**問** 働き方改革は、今後の経済・社会の構造化に対応するためには、重要な意義を持っている。また、企業力を高めるための永遠の課題でもある。

**答** 働き方改革は、今後の経済・社会の構造化に対応するためには、重要な意義を持っている。また、企業力を高めるための永遠の課題でもある。

**問** 時間外労働時間削減に向けた見解。

**答** 第2・第4の金曜日「ノー残業デー」として設定している。また、「退庁宣言カード」の導入も行っている。

**問** 有給休暇取得日数の現状把握（1年間を対象に、全体と課別の件数）。

**答** 月1日以上の取得を全職員へ周知して、休暇取得の促進に努めている。

**問** 時間外労働時間と有給休暇取得状況が人事評価に与える影響度。

**答** 人事評価制度は、職員の業務や能力を評価するものであり、時間外労働時間や有給休暇取得状況が与える影響はない。



澤田 道孝 議員  
(佐和の会)

# なぜ進まぬ都市計画道路環状線

## 最適な案が示されていない

5月22日中日新聞朝刊の記事に「新半田病院アクセス課題半田市期待の開通は未定」とあり、記事の中で竹内町長のコメントとして「開通を望んでいるが、今までは県にお願いしても感触はあまり良くなかった」とあった。

**問** 阿久比半田線と環状線の交差方法はどのようになっているか。

**答** 都市計画上は、平面交差の形で決定されている。

**問** 可能性のある交差方法には、どのような方法があるのか最も現実的な交差方法。

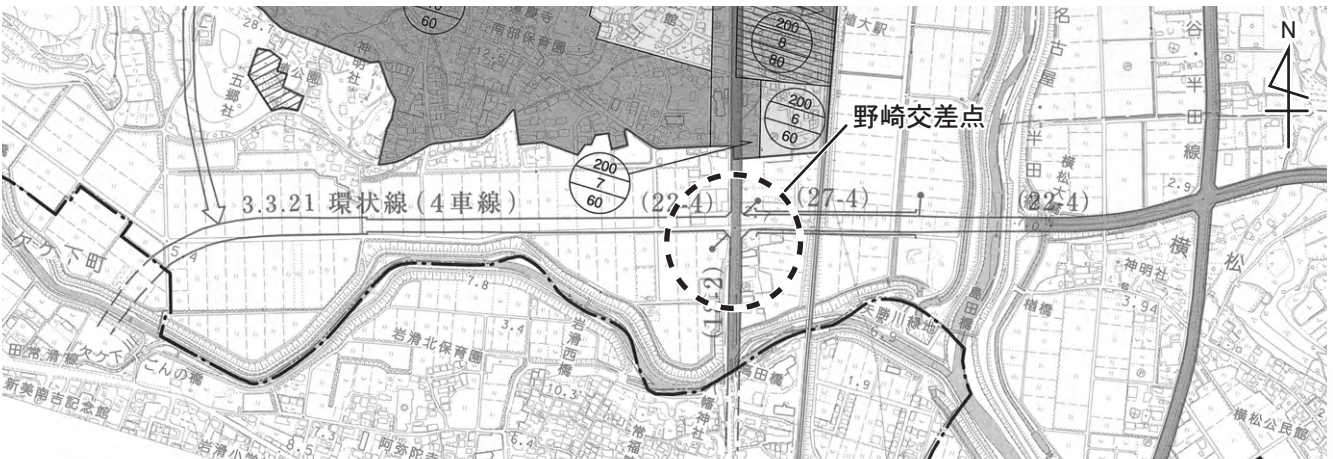
**答** 現時点で県から最適な案が示されていないため、答える状況にない。今後も県と調整しながら進める。

**問** なぜ県は好感触、あるいは積極的でないのか。

**答** 結果的に課題が多く、事業が進められていないことではないか。今後も要望活動や協議を継続する。

**問** 新半田病院へのアクセス道路の重要性が増してきたと思われるが本町の考え。

**答** 環状線は、新半田病院へのアクセス道路の一路線として、重要な路線になると認識している。



阿久比町都市計画図（平成24年度3月調製）

# 義務教育現場のいじめ対策

## 調査研究していく



小柳みゆき 議員  
(佐和の会)

全国各地でいじめ問題が深刻化している。阿久比町の教育現場での実態。

**問** 本年3月に策定された阿久比町いじめ防止基本方針の取り組みの実態。

**答** 「阿久比町いじめ等問題対策連絡協議会」を組織し、関係機関との連携を図る。

**問** いじめ問題において学校及び教育委員会が掌握している件数。

**答** 平成29年度はいじめの件数は、小学校報告数45件、うち解消数43件、中学校報告数44件、うち解消数44件である。

付属機関として「阿久比町いじめ問題専門委員会」と「阿久比町いじめ問題調査委員会」を条例により設置し、重大事態が発生した時にその事実の調査を行なう。

**問** いじめの事例、実態。

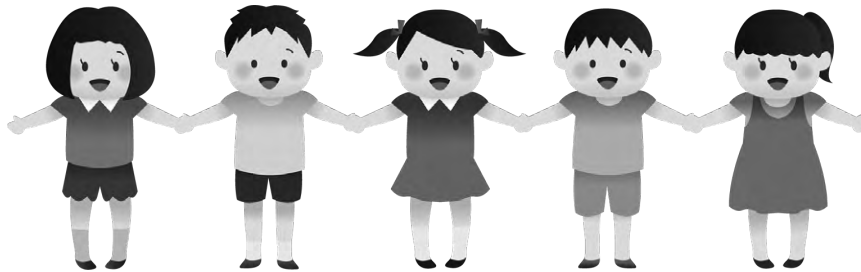
**答**

- ・冷やかす、からかい。
- ・悪口や脅し文句。
- ・嫌なことを言われる。
- ・仲間はずれ。
- ・集団による無視。
- ・軽くぶつかられる。
- ・遊ぶふりをしてたたかれる。
- ・蹴られたりする。

等である。

**問** STOP it（ストップイット）と言う、「匿名でいじめの実態を教育機関に報告できるアプリ」の効果及び導入の考え。

**答** 導入について、現段階では考えていないが、実際に導入している自治体等調査研究する。



## 小学校区の解決策

### 変更は難しい

ゆとりと柔軟性のある教育を望む観点から考える。

**問** 東部小学校は手狭でゆとりがないといわれている。

その一方で英比小学校にはゆとりがあるときく、小学校区の変更に対する考え方。

**答** 今後の児童数の増加に対し調査・研究をしているが、4・5年後に児童数は減少していくので、現状における学区の変更は難しい。

**問** 陽なたの丘地区周辺の子ども達が英比小学校、東部小学校を自由に選択できないか。

**答** 学校選択制を導入するかについては、今後、調査・研究をしていく。







勝山 制 議員  
(済々会)

# 新給食センター建設計画

## 本体工事約18億円

**問** 建設検討委員会の経緯。

**答** 29年度は、5回委員会を開催し、建設候補地選定、建設等スケジュールや基本計画、基本設計について意見を聞き建設及び運営に反映させている。

30年度は、実施設計が完了するため、建設コスト、センターのデザイン等について意見を聞く。

**問** 建設計画工程の進捗。

**答** 実施設計及び建築確認申請を10月までに完了し、工事契約は、31年6月下旬に議会の承認を経る予定である。

**問** 建設資金計画の進捗。

**答** 工事は、本体工事で約18億円を見込み、学校施設環境改善交付金約1億7千万円、起債約12億1千万円、残りの4億2千万円を町の一般財源で賄う。

**問** 運営方式検討の進捗。

**答** 学校給食の安全性や給食の質を落とさず、地産地消を取り入れながら、児童生徒に給食を提供するため、献立作成及び食材の発注、納入については町が担当し、調理、洗浄及び給食の配送、回収業務を委託する方向である。

**問** アレルギー対策。

**答** 新給食センターでの給食運営が軌道に乗るまでは、現状の対応内容で実施し、軌道に乗った後には、段階的に鶏卵、乳については対応を開始し、他のアレルギーに関しては、鶏卵、乳について対応の状況を見て検討する。

**問** 調理・厨房機器選定。

**答** 「阿久比町立学校給食センター厨房機器業者選定に係る指名型プロポーザル」を役場会議室で開催し、厨房機器業者を選定。

**問** ランニングコスト。

**答** 施設の面積、調理機器等も増加し、新たに受水槽の維持管理、下水道処理費、エレベーターや太陽光パネルの維持管理費が加わるため、1食当たりにかかる運営費のランニングコストは、現在の約1.25倍になると予想している。

**問** 追加工事予定の検討。

**答** 本体工事以外に、上水道接続工事、区域外流入下水道接続工事、都市ガス接続工事等が必要になる。

**問** 課題や問題点。

**答** 32年9月の供用開始までの建設及び準備期間が短いため、計画どおりに合うか心配である。



新給食センター建設予定地

# 「子育て支援グループ むぎ・むぎ」 さんにおじゃましました

社会教育課のお手伝いをしていただき育てネットワーカーの一部のメンバーで発足した子育て支援グループ。

子どもはママの笑顔が大好き。子育てを楽しく、そしてママたちの笑顔が増えるような支援ができれば…といった優しいさいっぱいボランティアアグループです。

**名前の由来と人数**  
「ハグするときのムギユ！、親子をムギユ」と包み込んでサポートしたい」気持ちもこもっています。  
6月現在 8人

**主な活動**  
・かえっこバザール  
・わくわくAggu  
フェスタなど。

おもちゃのオークション中です



たくさんの方が来てくれてうれしかった



ぼくのおもちゃだれかもらってね

私たちが値段つけるの楽しいね



イベント企画打ち合わせ

イベント時には、子どもボランティアを募り、子どもたちは打ち合わせから参加。「責任感と連帯感が生まれ成長する姿を見るのが楽しい。私たちはサポーターに回っています」とのこと。

子どもたちは、親や学校以外の大人や、異学年の人たちといった普段は関わりの少ない『斜めの繋がり』を持つことで、たくさんさんの学びがあるように楽しそうです。

また、ボランティアさん同士も「学区を超えて知り合いができ嬉しい」と話す笑顔がとても爽やかでした。

子育て世代の人たちが安心して暮らせるまちづくりは、こういう人たちの温かさで支えられているのかもしれないと感じました。

ご協力ありがとうございました。

**子どもの笑顔は阿久比の「宝」ですよね  
私たちと一緒にボランティアやりませんか？募集中です！**

## 編集後記

とある眼科医での出来事である。  
視力検査を受ける高齢者に遭遇。年の頃は80半ば位だろう。

看護師が、「これは？」と「C」を指すと、患者は、「見えますよ」と即答。  
周囲が思わず苦笑。

看護師が、「そうじゃなくて、丸のどこが切れているか場所を答えてください」と言うと、患者は、「そうなんですか」と真顔で答えていた。  
この患者、免許の更新のための来院でした…。

(Y・Y)

**次回定例会**  
**9月5日(水)**  
午前10:00～(開催予定)  
皆さんの傍聴をお待ちしています  
問い合わせ先  
**TEL 48-1111**  
**FAX 48-1711**  
議会事務局へ

- 議会議会だより編集特別委員会
- 委員長 山本恭久
  - 副委員長 都築清子
  - 委員 久保秋男
  - 委員 龍塚政明
  - 委員 小柳みゆき